

第4号様式(第10条関係)

会 議 録 (要 旨)

会議名	平成28年度第4回武蔵村山市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成29年1月23日(月) 14時00分～15時30分
開催場所	委員会室
出席者及び欠席者	出席者：野田委員 伊藤委員 小野委員 多和委員 阿比留委員 吉澤委員 欠席者：諸江委員 菊地委員 牧委員 加藤委員 事務局：ごみ対策課長 ごみ対策課主査 ごみ対策課主事 コンサルタント会社((株)杉山・栗原環境事務所)
議題	1 武蔵村山市の廃棄物処理の現状及び課題等について 2 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画基礎調査報告書(案)について 3 次期基本計画書の構成案について 4 その他
結論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について 第2回審議会の議論を受けて、「武蔵村山市の廃棄物処理の現状及び課題等について(修正版)」の説明を行い承認された。 議題2について 市民アンケート調査の回答者は、市の平均的な人と比べて、ごみやリサイクルに関する関心の高い人に偏っている可能性があることに留意する。事業所については、指定袋で排出するように指導する必要がある。今回の(案)を基礎として体裁を整え、報告書として取りまとめることが承認された。 議題3について 構成案について承認された。次回以降、章ごとに原案を作成して、審議会で議論することとなった。
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ●=委員 ○=事務局等	1 報告事項 (1) 第3回審議会廃棄物処理施設の視察会について (2) 第2回審議会会議録(要旨)について ○ (1)については、視察会の報告をし、(2)については、資料1について説明を行った。 2 議題 議題1 武蔵村山市の廃棄物処理の現状及び課題等について ○ 事務局から、資料2・3を使用し、前回、指摘を受けた箇所の修正等の説明を行った。 [主な意見等] ● 修正した箇所について、分かりやすくなっている。 ● 12ページの達成率について、平成27年度の実績値と平成29年度の目標値を比較すると、すべての項目で目標値に達していないが、ど

のような原因が考えられるか。

- 目標値は、長期計画の人口推計値を使用したか、実際の人口とは開きが生じたこと、持込ごみが増加したこと、古紙のリサイクル量が減少したこと、などが考えられる。

なお、現状の把握として、今後、現行計画の検証を進め、達成状況の原因については、明らかにする必要がある。

- これらの目標値については、今後、審議会でも議論するのか。
- 次期計画において前計画の達成状況を盛り込む予定であることから、この中で議論していただくことになる。

議題2 武蔵村山市一般廃棄物処理基本計画基礎調査報告書（案）について

- 事務局から、資料4を使用し、説明を行った。

[主な意見等]

- 第1部家庭ごみ組成分析調査に示されている組成割合は、重量ベースの割合か。
- ご指摘の通りである。
- 市民アンケート調査の回答率は41.1%とのことであるが、この割合は高いのか。
- 回答率41.1%は悪くない数値と考えている。
- 回答率41.1%は高いと考える。
- 地域別の問題点はあるのか。
- 今回の調査では、地域については調べていないので、地域別では分析できない。調査全体の課題は、第4部の考察で説明をする。
- 市民アンケート調査の結果を見ると、市民の方は協力しているように思えるが、それならばもっとごみが減ってもよいのではないか。
- 市民アンケート調査では、市民には協力していただいているという結果となっているが、回答率が40%程度のため、市の平均的な人と比べて、ごみやリサイクルに関心の高い人の意識が反映されている可能性があるため、留意する必要がある。
- ペットボトルをごみ収集に出している割合が3割弱となっているが、この割合は実態より高いのではないか。
- 選択肢には「市のごみ収集（燃やせるごみ・燃やせないごみ）」と表記したが、「市の資源収集」と勘違いをした人がいた可能性がある。
- 今後、類似のアンケート調査を行う際には、選択肢の作り方を工夫する必要がある。
- 事業所アンケート調査では、市の集積所にごみを出しているのに指定袋を使用していない事業所の割合が、ごみで32.4%、資源で47.1%であるが、指定袋は使用しなくてもよいのか。
- 事業系ごみは、指定袋でなければ排出できないルールになっている。
- 産業廃棄物なので、指定袋で出さない場合は、法律違反ではないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産業廃棄物ではなく事業系一般廃棄物であるが、市の排出ルールと合わないので指導する必要がある。 ● 指定袋の金額はわかるのか。 ○ ごみ分別辞典や分別アプリに記載している。 ● 指定袋の売上げはいくらでどのような費用に充てられているのか。 ○ 平成27年度の廃棄物処理手数料は全体で9,200万円程度であり、そのうち、事業系指定袋の売上は約2,300万円程度である。 手数料の充当先は、塵芥集運搬委託料や収納委託料などである。 ○ 事業系ごみは自己処理原則が大前提であり、小規模事業所の救済策として、日量10kg未満のごみについては指定袋を使って市の集積所に出してよいことになっている。多量に出す事業所は、市の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、自ら清掃施設に持ち込まなければならない。 ○ この（案）をベースにして、会長と調整し体裁を整えて、正式な基礎調査報告書としたい。 ● 意義なし。 <p>議題3 次期基本計画書の構成案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事務局から、資料5を使用し、説明を行った。 <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 構成案について異議はない。 ● 素案については、次回示す予定か。 ○ 次回以降は、素案の概要を示していくことになるが、項目が多いので章ごとに案を提示していく予定である。そのため、議論をする章が前後する可能性があるのので了承いただきたい。計画の位置づけや廃棄物処理の現状については、先にお示ししたいと考えている。ごみ処理・リサイクルの課題は、今回提示した基礎調査の結果も踏まえて検討する予定である。 <p>議題4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし。
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u> 0 </u> 人</p>
--------------------	--

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開 示 <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等 :) <input type="checkbox"/> 非 開 示(根拠法令等 :)
--------------	--

庶務担当課	協働推進部 ごみ対策課(内線 : 2 9 3)
-------	--

(日本工業規格A列4番)